

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経済学研究科
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 授業形態、教材の多様化に伴う既存教室の機器などの改善を図る。	→教室へのプロジェクター設置割合。教員の機器使用要求に応える度合い。	B
2. 会議など事務的負担を軽減することによって研究時間を確保する。	→学部で設置する委員会数。メールによる持ち回り委員会の開催数。	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

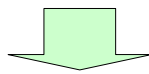
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目9.0.4	(方針) 教育研究環境の整備 (現状説明) 1. 教室へのプロジェクターの設置の多くは稼働式対応としており、PCを含め貸し出しもほぼ100%対応できているが、機器が古く、2010年度へ向けて購入することとなった。 2. 教員による各種委員会委員数の減少、会議開催の効率化には至っておらず、メールによる持ち回り委員会も1件程度である。
☆ その他	

### ◎効果が上がっている事項

#### 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

☆ 小項目9.0.4	
☆ その他	



#### 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

☆ 小項目9.0.4	
☆ その他	

◎改善すべき事項

<b>【点検・評価 (2)】改善すべき事項</b>	
★ 小項目9.0.4	
★ その他	
↓	
<b>【次年度に向けた方策(2)】改善方策</b>	
★ 小項目9.0.4	
★ その他	

◎自由記述

<b>【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】</b>	
★ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 【学外委員】  
○各種委員数の減少、会議開催の効率化については、更なる工夫が求められます。
- 【学内委員】  
○会議数削減などの改善策を書いても良いのではないのでしょうか。  
○進捗評価Dとしている目標2については問題点を検証し、「改善すべき事項」欄に記述されることで構成員が認識を共有することが望まれます。  
○現状説明において課題が記述されています。改善すべき事項へ記述を望みます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし
------

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

9.0.0.S1	個人研究費・研究旅費の額
9.0.0.S2	留学、特別研究期間制度、自由研究期間制度の利用状況
9.0.0.S5	科研費の申請・採択件数
9.0.0.S6	学外からの研究費の総額と一人当たりの額
9.0.0.S11	専任教員の発表論文数
9.0.0.S13	学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文件数
9.0.0.S14	21世紀COEプログラムの採択状況
9.0.0.S15	文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況
9.0.0.S16	特定プロジェクト研究センター制度の活用状況
9.0.0.S18	校地、校舎、講義室・演習室等の面積
9.0.0.S21	教室の種別数と使用率
9.0.0.S22	PC設置台数
9.0.0.S23	研究設備(文科省補助、学院購入)の整備状況
9.0.0.S24	シャトルバスの利用状況

<個別的な指標>
